

(結果公表様式)

東御市公共交通・デマンド「とうみレッツ号」運行見直し計画（案）
に対するパブリックコメントの結果について

1 募集の概要

件名	東御市公共交通・デマンド「とうみレッツ号」運行見直し計画（案）
意見の募集期間	平成29年4月3日（月）～5月2日（火）
意見の受付方法	電子メール、ファックス、郵送、担当窓口へ直接
意見の周知場所	市報とうみ、市公式ホームページ、市役所本館、北御牧庁舎、総合福祉センター、中央公民館、市立図書館、滋野コミュニティーセンター、祢津公民館、和コミュニティーセンター
結果の公表場所	市公式ホームページ
提出状況	(1) 提出者数 8人 (2) 提出意見数 32件
実施機関	東御市産業経済部商工観光課商工労政係 電話：0268-62-1111 ファクシミリ：0268-64-5881 電子メール：syoko-kanko@city.tomi.nagano.jp

2 ご意見の提出状況と対応区分

区分	内容	提出者数	意見数
A	ご意見の趣旨が既に反映されているもの。	0	0
B	ご意見を反映させるもの（または修正したもの）。	0	0
C	ご意見を反映することはできないが、今後の参考とするもの。	6	8
D	ご意見を反映できないもの。 ・法令等で規定されており、市として実施できないもの。 ・実施主体が市以外のもの。 ・市の方針に合わないもの。など	2	2
E	その他のご意見（質問、感想等）。	7	22
計		15	32

※ 今回の運行見直し計画（案）の内容に直接関係しないご意見等については、区分Eのその他のご意見に集計させていただいております。

※ 表中の提出者数は、一人で複数の意見を提出している場合があるため、実際の提出者数（8人）と一致しません。

3 ご意見の内容と市の考え方について

番号	意見の内容・要旨	市の考え方	反映区分
1	年中無休	今回の運行見直し計画（案）では、サービス向上の観点から、試行的に土曜日にとうみレッツ号の運行拡大を行います。更なる運行拡大につきましては、試行期間中における利用状況や費用対効果を検証しながら、引き続き研究してまいります。	C
2	運行日は、年中無休でやっていただきたい。		
3	土曜、日曜にもレッツ号を運行してほしい。私も、毎週日曜日に上田へ行きたいが移動が難しいため、家族の都合のつくときしか行かない。		
4	サンテラスや市中心地の催物がある土日に月1回位は運行してほしい。		
5	土曜、日曜日も、中央公民館、サンテラスでイベントがある時に運行して頂きたい。		
6	東御市が開催するイベント会場へ行きたい人が乗れるレッツ号を運行してほしい。イベントへの集客の意味も合わせて、市の行事がおこなわれるときに、レッツ号で行きたい人を拾って会場へ行くような運行方法を少しずつ検討してもらえないか。	とうみレッツ号は、市民の昼間の交通手段確保のため、市内の定められた5つのエリア内に限り、自由に乗り降りできる乗合自動車として認可を受けて運行していますので、特定の催事に合わせた運行は困難です。ご理解をお願いします。	E
7	市街地にも対応。	農地などの一部の例外を除き、市内5エリア内であれば、自由に乗り降りできます。	E
8	朝7時～夜8時まで営業してほしい。	とうみレッツ号は、市民の昼間の交通手段確保のための乗合自動車として認可を受けて運行していますので、朝夕や通勤通学等の時間帯は、同様に乗合自動車として運行している定時定路線バスをご利用下さい。	E
9	運行時間の見直しを見当していただきたい。(現行の時間は、8時半から4時までですが、終了時間を夕方6時ごろまで延長していただきたい)。		
10	通勤、通学でも利用でき、それに伴い運行時間の延長。		
11	事情によっては、通勤でも使えるようにならないか。お年寄りの方でなくても色々な事情で運転が		

	ままならない者もいるので、そういう場合に限り使用が可能になると助かる。(骨折した子の一時的な通学等も含め)		
12	自宅前まで横づけ送迎してほしい。	道路が狭く、通行が困難な場合などに限り、広い場所まで出ていただくようお願いしております。ご理解をお願いいたします。	E
13	代金の支払いは一括でお願いしたい。	これまでも発行している回数券のご利用をお願いいたします。	E
14	接客業であるので利用者に対しては親切に対応していただきたい。	今後とも、親切かつ丁寧な対応に細心の注意を払いながら運行してまいります。お気づきの点などがございましたら、何なりとお申し出ください。	E
15	車内における言葉遣いにも細心の注意をしていただきたい。		
16	目が見えないため乗り降りにサポートしていただきたい。	とうみレッツ号は、不特定多数の乗客を輸送する乗合自動車として認可を受けて運行していますので、タクシーのような個々の乗客に対する十分なサポートは、困難な部分がございますが、今回の運行見直し計画(案)で設置を予定する「コーディネーター」との連携の下で、高齢者や障害者に対する介助の知識を習得する機会を確保しながら、可能なサービスの提供に努めてまいります。	C
17	バスの運転手、及び電話受付等の関係者に、高齢者や、さまざまな障害への理解と、障害者のサポートの基本を学んでいただきたい。今は、「障害者差別解消法」が施行され、駅員やタクシー運転手の方々も介助の基本を学んでいる。同程度の研修を受ける機会を運転手や、受付職員の方々に保障してほしい。		
18	サービスの向上(予約の取り方)	電子メールやIT機器による予約は、便利ではありますが、双方向での意思疎通の不足に起因する運行上の様々なトラブルも懸念されますので、今後、利用者アンケートなどを行いながら、引き続き研究してまいります。	E
19	予約受付についても弾力的に対応していただきたい		
20	最近、携帯(スマートフォンを含む)やパソコンなど様々なIT機器が普及している。また、高齢者や障害者の人口も増加している。受付センターに予約専用のメールアドレスとFAX専用の番号を設けて24時間予約できるようになればいい。		

21	電話だけでなく、ファックスやメールでも利用を受け付けてほしい。三日前から電話だけで申し込むという申し込み方法は、たいへん不便で、利用者が少なくなる一因とも考えられる。また、聴覚障害者にとっては、電話の申し込みは利用しにくく、合理的配慮が欠けている。ぜひ、メールやファックスでも予約できるようにしてほしい。		
22	パソコンやスマホにより予約可能なシステム化を希望する。		
23	料金設定は、いままでどおりの体系でやっていただきたい。	とうみレッツ号の運賃は、平成18年の運行開始以降、消費税率の引き上げを挟んで10年間、200円に据え置いてきました。しかしながら近年においては、社会情勢の変化等による利用者の減少が続いており、今後とも利便性を高めながら、地域の足を将来にわたり持続可能な仕組みとして維持していくため、一定の負担増をお願いするものでございます。何卒ご理解をお願いいたします。	D
24	運賃を今まで通り200円にできないか。一般的なバスの場合、150円(一番遠くても300円)程度で市内の移動ができるのに、片道300円往復600円となると、気軽に週何度も利用するのは難しい。回数券だけでもお得にならないものか。または、いっそ細かく停留所を各エリアに置いてもらって(誰もが歩いて数分で乗れる場所、公民館やお店の前等)各家を回る手間を省く等して、運賃を上げずにすむ方法は考えられないものか。		
25	秋頃新体系になるとの話だが、決まりしだい一度試験運行を実施していただきたい。	今回の運行見直し計画(案)における土曜日運行は、試行的に実施させていただき、この間に定期的な利用者アンケートの実施や、利用状況及び費用対効果などの検証を行い、更なる利便性の向上による利用者の増加を図りながら、地域の足を将来にわたり持続可能な仕組みとして維持することに努めてまいります。	E
26	新体系に変わってからも半年に一度または、年に一度統計調査をしていただきたい。		
27	東御レッツ号をこれからも引き続き運行してほしい。レッツ号が、関係各位の多大なご努力によって運行されていることに感謝している。発展的に運行を継続していただけるよう、希望している。		

28	利便性を良くし、利用者を増やすことを希望する。		
29	申し込みは2日前と言われるが30分までにと書いてある。当日ではどうしてダメなのか。	運行日の2日前から当日の運行開始30分前までは予約できません。しかしながら満車の場合はお断りすることとなりますので、できるだけ早めのご予約をおすすめしております。	E
30	しなの鉄道利用者に対する利便性向上の観点から大屋駅の周辺（東御市内）を拠点とした乗降ができるよう運行態勢の検討をお願いしたい。	東御市内で、乗降場所が明確であれば、大屋駅周辺でも乗降は可能ですので、ご利用下さい。	E
31	市中心部発12時の便は、予約が取れないことが多々あるので運行改善をお願いしたい。	お昼の時間帯は、労働基準法に定められたドライバーの休憩時間を確保する必要があることから、やむを得ず台数を減らして運行しています。ご理解をお願いいたします。	E
32	和ルートで鞍掛のJA虹のホール、JA農産物直売所、JAふれあいセンター（3施設ともに隣接している）などを利用する場合、現状では田中駅での乗り継ぎが必要。和エリアからこれらの3施設への位置関係をみると、浅間サンラインから東御市民病院へ下る鞍掛の十字路から左方向へ10メートルほどの距離にある。こうした公共性の高い施設を目的地として利用する際には、運行規約上問題とならない鞍掛手前の最寄り拠点での乗降ができるような運行態勢の検討をお願いしたい。	今回の運行見直し計画（案）では、利用者のご意見等を踏まえ、一部で共通エリアを拡大させていただくこととしました。この共通エリアの更なる拡大については、今後も利用者のご意見等をお聞きしながら、研究してまいります。	C